

リフォーム前

祖父母から両親へ受け継がれてきた田畑を管理されるべく普段は会社員として働かれている中、貴重なお休みの日は大概、鹿児島市内から30~40分掛けて始良市のご実家まで戻っていられていました。

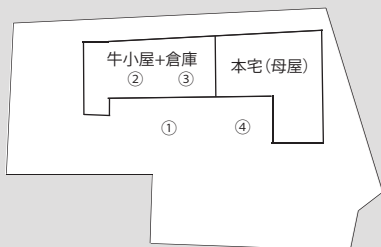
過疎化が進み、時間共に朽ちていくこの場所をどのように次世代へつなげていくべきなのか熟考され、「残す」ことに決めた施主様。いま自分が手を加えないと次の世代に託せないと思いつき、奥様と一緒にいった飲食店で見かけた我が社のパンフレットに興味を持たれて、翌週には見学に来られた行動力のあるご主人に引っ張られるよう、弊社設計士も安心安全で長く暮らせる場所をテーマとしたプランニングに力をいれました。



②南土間



③南土間



①南外観



④東母屋

リフォーム後

デザインの工夫

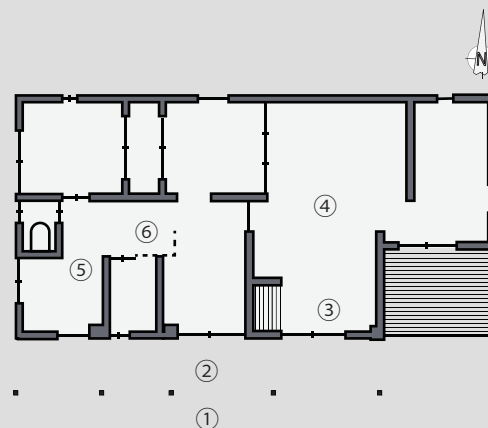
残した古材は太さがバラバラですが、住まいの中で最も家族の歴史を感じるものなので随所に残しました。農作業をした後、少しゆっくりしたいときは小上がりの和室で横になり、素足で過ごすには快適な無垢材を床に活用し湿度の高い時期でも快適に過ごせているようです。

技術的な工夫

住宅の性能は格段に良くなっていると胸を張って言えるほど性能にはこだわりました。見た目をおしゃれにかっこよくすることはもちろんですが、長く暮らすためには安心安全な構造も必要不可欠です。災害時も建物の中は強固なつくりなので安心して過ごしていただけます。ただきれいにするリフォームではなく、構造躯体から見直した中身のあるリフォーム工事になったと思います。



⑥北西寝室



④北東LDK



③南東和室



⑥南西洗面スペース



①南外観



②南玄関下屋

| 応募者・施工者 | 設計者 | 築年数 | 構造 | 建方形式 | 竣工 | 工事期間 | 工事費 | 所在地 | リフォーム内容 |
|---------|-------|-----|----|------|---------|-------|-------|-----|----------------|
| 株式会社正匠 | 下城 正一 | 50年 | 木造 | 戸建 | 2024年8月 | 180日間 | 2250万 | 始良市 | 全面改修(断熱、耐震メイン) |